

山武保健所所管区域における社会資源の現状 —インターネット公開情報を活用して—

山田万希子¹⁾・井上映子¹⁾・中山静和¹⁾
末永 香¹⁾・長井栄子¹⁾・飯田加奈恵¹⁾

【要旨】

山武保健所所管区域(以下、山武区域)は、千葉県の中でも医療過疎の著しい区域であり、三次救急に関しては県北東部の匝瑳区域にある病院、または千葉市・安房区域の病院に頼らざるを得ない状況に置かれている。医療の問題を考えるに先立ち、今回は、インターネット上に公開されている社会資源の調査を試み、情報の活用、可能性を考察した。情報を整理することにより、山武区域の抱える問題として、交通網、医療・福祉情報網、救急体制をあげた。交通網の利便性の問題、医療施設の少なさと施設の所在が偏っていること、救急体制の問題が見えてきた。千葉県内の中でも山武・夷隅・安房地域は既に高齢者人口割合は高く、急激な高齢化に伴い、医療や介護を必要とする高齢者が急増することが予想されている。医療・介護に関する情報は更に必要となると推測された。

今回整理した社会資源を、様々な団体が共通理解して住民に対して情報提供できたら、住民が区域外の二次救急・三次救急の病院に頼らず居住区域内の医療機関を受診していくことは可能だと考える。本大学としては、情報提供の場、健康づくり・健康維持の場として、他学部と連携し地域の医療・活性化を考えていく必要がある。

キーワード：社会資源、地域連携、医療過疎、インターネット公開情報

I. はじめに

山武保健所所管区域(以下、山武区域)は、城西国際大学(以下、本大学)がある東金市及び、山武市、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町の2市4町からなる、千葉県北東部に位置する地域区分である。総面積は427.88 km²、人口約22万人を有している。千葉県の中でも特に医療過疎の著しい地域であり、現在管内には三次救急の患者を受け入れることができる医療施設はなく、三次救急に関しては県北東部の匝瑳区域にある病院、または千葉市・安房区域の病院に頼らざるを得ない状況に置かれている。そのため、救急であっても搬送までの時間を要し、重症化が懸念される。また、救急搬送の増加により、搬送先の病院では業務の煩雑化を招き、医師の労働条件の悪化による退職を招いているとのことである。

本大学は、地域からの要望を受け、平成24年4月に看護学部を開設するに至った。看護学部の役割として、住民への医療福祉情報の提供などを含め地域住民の健康を促進し、地域の活性化を図ることがあげられる。

¹⁾ 城西国際大学看護学部看護学科

山武区域の社会資源が今現在どのようになっているかを知ることが、地域貢献の第一歩となると考え、この山武区域の社会資源の現況を調査し、情報の活用、可能性を考察した。

II. 用語の定義

社会資源とは、『社会福祉辞典』によると「社会福祉を支える財政(資金)、施設・機関、設備、人材、法律等、社会福祉を成立させるために必要な物資および労働をまとめて社会資源と呼ぶ。」と定義される(仲村ら, 1982)。本研究では、社会資源の中でも「施設・機関」を対象とする。

III. 目的

山武保健所所管区域の医療・福祉に関連する社会資源の現状を明らかにし、この地域にある大学の看護学部として、地域貢献を考えるための資料とする。

IV. 方法

1. 対象

インターネットからの情報および、千葉県・厚生労働省・総務省・経済産業省で有する既出資料を収集し、情報を整理した。内容としては、山武保健所所管区域の人口割合、産業、交通、公的支援の現況ならびに、行政、医療、介護保険施設の設置場所とした。分析対象データの情報源は以下の通りである(表1)。

表1 分析対象データの情報源一覧

| | |
|--|---|
| 1) 行政ホームページ | |
| 千葉県ホームページ | http://www.pref.chiba.lg.jp/ |
| ちば医療なび | http://www.iryu.pref.chiba.lg.jp/ |
| 東金市 | http://www.city.tougne.chiba.jp/ |
| 山武市 | http://www.city.sammu.lg.jp/ |
| 大網白里町 | http://www.town.oamishirasato.chiba.jp/ |
| 九十九里町 | http://www.town.kujyukuri.chiba.jp/ |
| 芝山町 | http://www.town.shibayama.lg.jp/ |
| 横芝光町 | http://www.town.yokoshibahikari.chiba.jp/ |
| 厚生労働省 | http://www.mhlw.go.jp/ |
| 総務省 | http://www.soumu.go.jp/ |
| 経済産業省 | http://www.meti.go.jp/ |
| 2) WAM ネット(独立行政法人 福祉医療機構が運営している福祉・保健・医療の総合情報サイト)上の医療・福祉機 | |
| | http://www.wam.go.jp/iryu/ |
| 3) メディカルタウンページ | |
| | http://medical.itp.ne.jp/ |
| 4) 山武保健所所管区域 各医療施設・福祉施設のホームページ | |
| 5) 交通機関 | |
| 九十九里鉄道(株) | http://www.kujyukuri-tetsudo.co.jp/ |
| ちばフラワーバス(株) | http://www.flower-bus.co.jp/ |
| 千葉県バス総合情報案内【(社)千葉県バス協会】 | http://www.chiba-bus-kyokai.or.jp/ |

(1)行政ホームページ

千葉県・東金市・山武市・大網白里町・九十九里町・芝山町・横芝光町
厚生労働省・総務省・経済産業省

(2)WAM ネット(独立行政法人 福祉医療機構が運営している福祉・保健・医療の総合情報サイト)
上の医療・福祉機関

(3)メディカルタウンページ

(4)山武保健所所管区域の各医療施設・福祉施設のホームページ

(5)交通機関

九十九里鉄道(株)

ちばフラワーバス(株)

千葉県バス総合情報案内【(社)千葉県バス協会】

2. データ収集期間

平成 24 年 6 月～8 月とする。

3. 分析方法

(1)千葉県全体と山武保健所所管区域の人口・人口割合を表に作成する。

(2)山武保健所所管区域の行政、医療・介護・福祉機関をゼンリン電子地図帳 Zi14 を用いて診療科別の医療施設と介護保険施設を地図上にプロットし、所在を整理する。

V. 結 果

1. 山武保健所所管区域の老年人口割合と保健福祉施設の現況

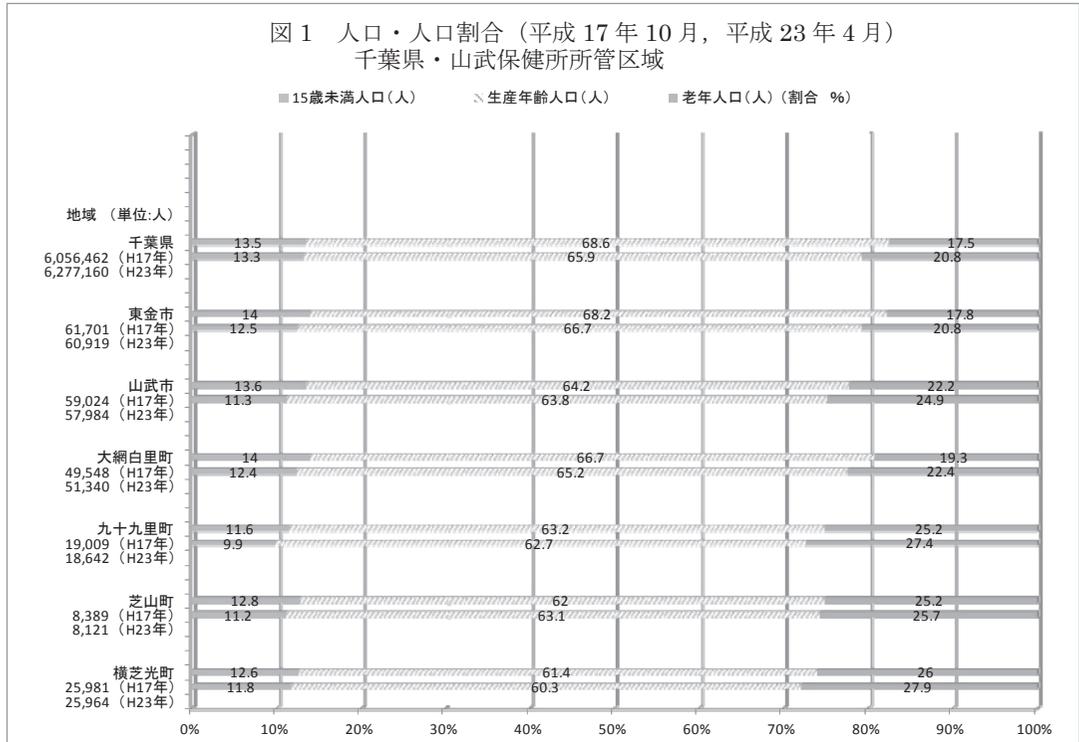
平成 23 年 4 月の時点で、東金市は山武保健所所管区域の中でも人口が最も多い市であり、老年人口の占める割合は千葉県全体の老年人口割合と同じ 20.8%であった。しかし、15 歳未満の人口割合は 12.5%と県全体の 13.3%と比較すると低い。老年人口については、九十九里町 27.4%、芝山町 25.7%、横芝光町 27.9%と 25%を超えている。また、この 3 町以外の市町に関しても県全体の割合よりも高く、平成 17 年 10 月の人口割合と比較しても高齢化が進んでいることがわかる(図 1)。

各市町が有する福祉施設の種類については、大きな相違はみられなかった(表 2)。保健所の設置に関しては、山武保健所(山武健康福祉センター)は東金市に設置され、その他の市町に関しては山武保健所の出張所という形で設置されている。また、大網白里町は健康介護課、芝山町は福祉保健課保健衛生係が窓口となっている。

地域包括支援センターの業務について、山武市は地域包括支援センターという形で福祉法人等に委任している。芝山町は、平成 19 年より福祉保健課保健衛生係が窓口となっている。横芝光町は、平成 19 年より匝瑳市の九十九里ホームに委託し、その業務を開設している。

介護保険施設に関しては、事業内容では分類せず、介護保険に関わる全ての施設を一同に挙げた。病院・診療所と比較すると、広範囲にわたって所在している。しかし、芝山町・山武市については、

交通の利便性の悪い地域には施設が少ない(表 2, 図 14)。1 施設にいくつかの事業を併設している施設が多い(千葉県, 2011)。しかし、今回は施設の事業内容で分類していないため、事業内容の偏り等については明確にしている。



資料：平成19年 千葉県統計年鑑 千葉県 平成20年4月刊行
千葉県ホームページ 統計情報の広場 www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/hiroba/index.html

表 2 行政の概要と医療・介護保険施設数
(東金市・山武市・大網白里町・九十九里町・芝山町・横芝光町)

| 項目 | 東金市 | 山武市 | 大網白里町 |
|----------------|---|--|--|
| 人口 | 総人口 59,653人(平成24年7月1日現在) 男 29,951人 女 29,702人 世帯数 24,499世帯 | 総人口 56,296人(平成24年7月1日現在) 男 28,072人 女 28,224人 世帯数 21,689世帯 | 総人口 50,726人(平成24年7月1日現在) 男 25,107人 女 25,619人 世帯数 19,919世帯 |
| 面積 | 89.34平方キロメートル | 146.38平方キロメートル | 58.06平方キロメートル |
| 産業 | 第1次産業就業者数 6% 第2次産業就業者数 23% 第3次産業就業者数 71.4% (平成22年10月1日現在) | 第1次産業就業者数 11.9% 第2次産業就業者数 25.5% 第3次産業就業者数 62.6% (平成22年10月1日現在) | 第1次産業就業者数 4.9% 第2次産業就業者数 22.5% 第3次産業就業者数 72.7% (平成22年10月1日現在) |
| 保健 福祉施設等 | 東金市保健福祉センター(ふれあいセンター) 市社会福祉課, 東金市社会福祉協議会 東金市老人福祉センター, 東金市シルバー人材センター 東金市簡易マザーズホーム, 東金市福祉作業所 保育所:6園(市立5,私立1) 幼稚園:9園(市立8,私立1) 小学校:9校 中学校:4校 学童保育:9か所 東金市地域包括支援センター | 山武保健センター:一部業務が山武出張所にて取り扱う 市社会福祉課, 山武市社会福祉協議会 ふれあいデイサービスセンター, 成東老人福祉センター 成東福祉作業所, 成東簡易マザーホーム 山武福祉センター, さんぶの森元気館 山武福祉作業所, 松尾福祉作業所 保育所:6園(市立3,私立3) 幼稚園:7園(市立3,私立4) 小学校:13校 中学校:6校 学童クラブ:13か所 地域包括支援センター:社会福祉法人緑梅会(委託法人) | 保健センター(健康介護課健康指導班) 大網白里町社会福祉協議会 老人福祉センター 保育所:5園(町立3,私立2) 幼稚園:6園(町立4,私立2) 小学校:7校 中学校:3校 学童保育:10か所(町立7か所*,民間3か所) *町立の7か所のうち、幼稚園内1,シルバー人材センター内1 大網白里町地域包括支援センター |
| 保健センター (窓口) | 山武健康福祉センター(山武保健所) *1 | 山武出張所(さんぶの森交流センター1階) | 保健センター(保健文化センター1F) |
| 交通機関 (バス路線) | 九十九里鉄道(株), ちばフラワーバス(株) 東金市循環バス | ちばフラワーバス(株), 千葉交通循環バス 山武市基幹バス | 九十九里鉄道(株), 千葉中央バス, 小湊鉄道 |
| 医療機関 診療科(数) | 千葉県立東金病院(内・外・小・産婦・耳鼻・眼) 内科(31) 外科(7) 小児科(15) 産婦人科(4) 耳鼻咽喉科(2) 眼科(8) 精神科(1) 歯科(33) 皮膚科・アレルギー科(6) 泌尿器科(2) 肛門科(1) 放射線科(1) (平成24年7月現在) | さんぶ医療センター(内・外・小・産婦・耳鼻・眼) 内科(28) 外科(9) 小児科(11) 産婦人科(1) 耳鼻咽喉科(4) 眼科(5) 精神科(0) 歯科(22) 皮膚科・アレルギー科(5) 泌尿器科(2) 肛門科(0) 放射線科(0) (平成24年7月現在) | 大網白里町立大網病院(内・外・耳鼻・眼) 内科(22) 外科(6) 小児科(9) 産婦人科(2) 耳鼻咽喉科(3) 眼科(4) 精神科(1) 歯科(24) 皮膚科・アレルギー科(5) 泌尿器科(1) 肛門科(1) 放射線科(0) (平成24年7月現在) |
| 介護保険施設数 | 68施設 (平成24年7月現在) | 48施設 (平成24年7月現在) | 62施設 (平成24年7月現在) |

| 項目 | 九十九里町 | 芝山町 | 横芝光町 |
|----------------|--|---|---|
| 人口 | 総人口 17,890人(平成24年7月1日現在) 男 8,794人 女 9,096人 世帯数 7,116世帯 | 総人口 7,787人(平成24年7月1日現在) 男 3,915人 女 3,872人 世帯数 2,828世帯 | 総人口 25,420人(平成24年7月1日現在) 男 12,531人 女 12,889人 世帯数 9,268世帯 |
| 面積 | 23.72平方キロメートル | 43.47平方キロメートル | 66.91平方キロメートル |
| 産業 | 第1次産業就業者数 6.7% 第2次産業就業者数 32.6% 第3次産業就業者数 60.7% (平成22年10月1日現在) | 第1次産業就業者数 26.1% 第2次産業就業者数 18.2% 第3次産業就業者数 55.7% (平成22年10月1日現在) | 第1次産業就業者数 12.8% 第2次産業就業者数 25.6% 第3次産業就業者数 61.6% (平成22年10月1日現在) |
| 保健 福祉施設等 | 九十九里町保健センター 九十九里町社会福祉協議会 介護予防拠点施設「ちどりの里」 九十九里町福祉作業所 保育所:4園 幼稚園:3園(町立2園,私立1園) 小学校:3校 中学校:1校 学童保育(1-2-3クラブ):3カ所 九十九里町地域包括支援センター | 保健センター(保健衛生係) 芝山町社会福祉協議会 福祉センター「やすらぎの里」 保育所:3園(町立) 小学校:3校 中学校:1校 学童クラブ:3カ所 地域包括支援センター:平成19年より福祉保健課内に 設置(保健衛生係) | 健康づくりセンター「プラム」 横芝光町社会福祉協議会 老人憩の家 光風館 保育所:8園(町立) 小学校:7校 中学校:2校 放課後児童クラブ:3カ所 横芝光町地域包括支援センター:平成19年より 匝瑳市の九十九里ホーム内に開設 |
| 保健センター (窓口) | 九十九里町保健センター | 保健センター(福祉保健課保健衛生係) | 横芝光町健康づくりセンター「プラム」 |
| 交通機関 (バス路線) | 九十九里鉄道(株), 小湊鉄道 | 芝山ふれあいバス, 芝山あいあいタクシー | 町内循環バス |
| 医療機関 診療科(数) | 内科(7) 外科(1) 小児科(4) 産婦人科(0) 耳鼻咽喉科(0) 眼科(1) 精神科(0) 歯科(9) 皮膚科・アレルギー科(1) 泌尿器科(0) 肛門科(0) 放射線科(0) (平成24年7月現在) | 内科(7) 外科(1) 小児科(4) 産婦人科(0) 耳鼻咽喉科(1) 眼科(0) 精神科(0) 歯科(5) 皮膚科・アレルギー科(0) 泌尿器科(0) 肛門科(0) 放射線科(0) (平成24年7月現在) | 横芝町立東陽病院(内・外・耳鼻・眼) 内科(12) 外科(4) 小児科(5) 産婦人科(0) 耳鼻咽喉科(1) 眼科(1) 精神科(0) 歯科(14) 皮膚科・アレルギー科(2) 泌尿器科(0) 肛門科(1) 放射線科(0) (平成24年7月現在) |
| 介護保険施設数 | 22施設 (平成24年7月現在) | 7施設 (平成24年7月現在) | 24施設 (平成24年7月現在) |

2. 診療科別医療施設の現況

山武保健所所管区域には、千葉県立東金病院(東金市)、さんむ医療センター(山武市)、大網白里立大網病院(大網白里町)、横芝町立東陽病院(横芝光町)があり、地域の総合病院の役割を担っている。今回、内科、外科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、精神科・診療内科、歯科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、肛門科、放射線科の12診療科について、数と場所を明示した。

外科は、九十九里町・芝山町は各1施設であった。産婦人科は、東金市4施設、山武市1施設、大網白里町2施設で、九十九里町・芝山町・横芝光町は有していない。耳鼻咽喉科と眼科に関しては、大網白里町には耳鼻咽喉科がなく、芝山町には眼科がない。横芝光町は、町立の東陽病院が耳鼻咽喉科と眼科を有している。歯科は、各市町で比較的点在していることがわかる。他の専門診療科目に関しては、東金市以外は全ての診療科が整っているわけではなく、特に九十九里町、芝山町、横芝光町に関しては、居住地での専門診療を受診することが出来ない状況である。ほとんどの病院・診療所は駅・役所・主要道路周辺の利便性の良い所に集中している。(表2, 図2～図13)

東金市においては、県立東金病院(院長:平井愛山氏)が中心となって、糖尿病に関する医療連携を構築した“わかしおネットワーク”が平成13年に開設されている。“わかしおネットワーク”とは、地域の中核病院である東金病院と、診療所、調剤薬局、訪問看護ステーション、保健センターなどを電子カルテによるネットワークシステムで結び、地域全体を包括的な保健・医療サービスでカバーしていこうとする試みである。それは、効率的で質が高く、患者にとって安心が保障される医療の実現を目的としている(平井ら, 2007)。

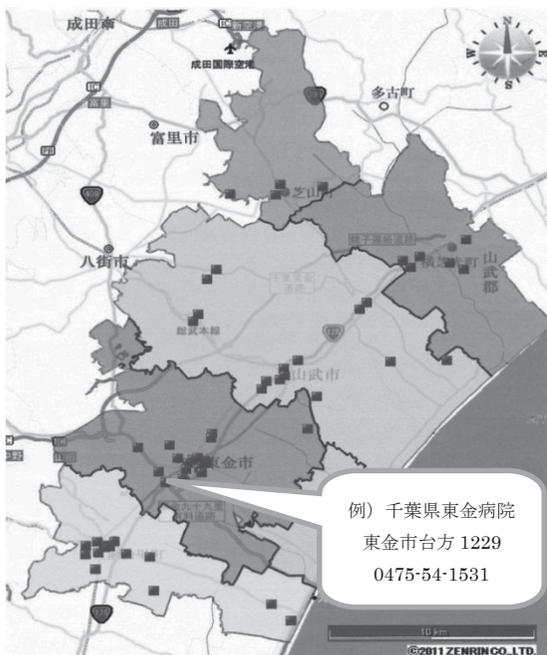


图 2 山武保健所所管区域医療施設 (内科)

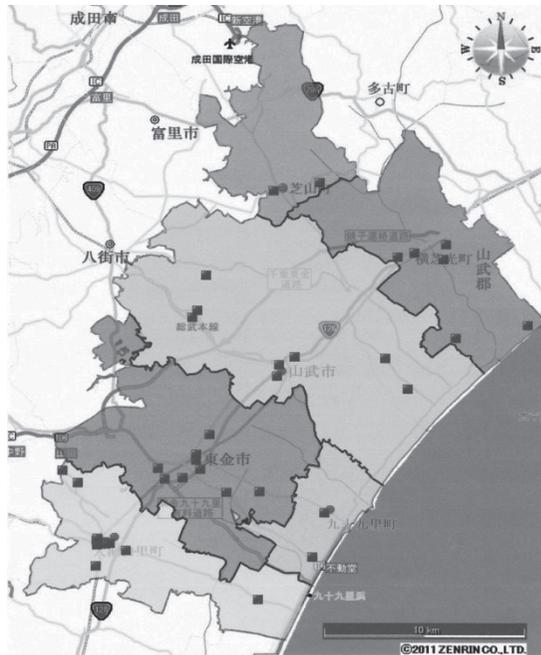


图 3 山武保健所所管区域医療施設 (外科)

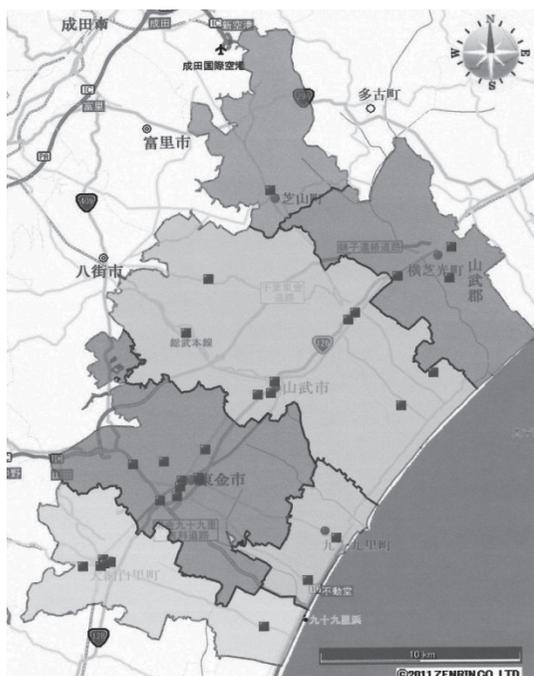


图 4 山武保健所所管区域医療施設 (小児科)

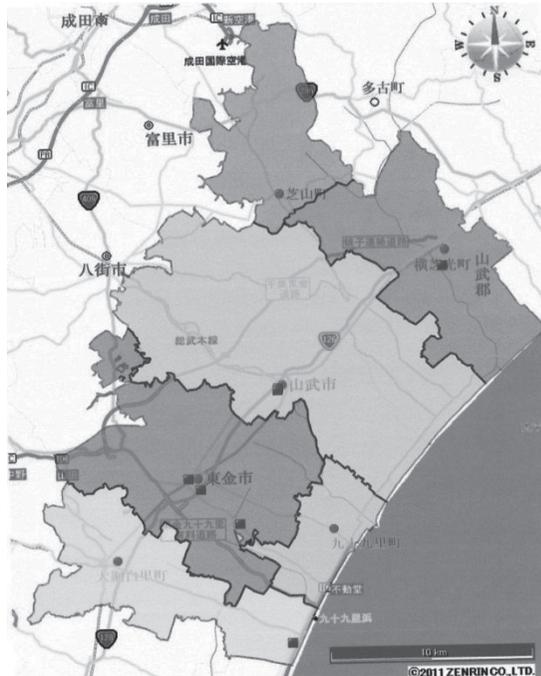


图 5 山武保健所所管区域医療施設 (産婦人科)

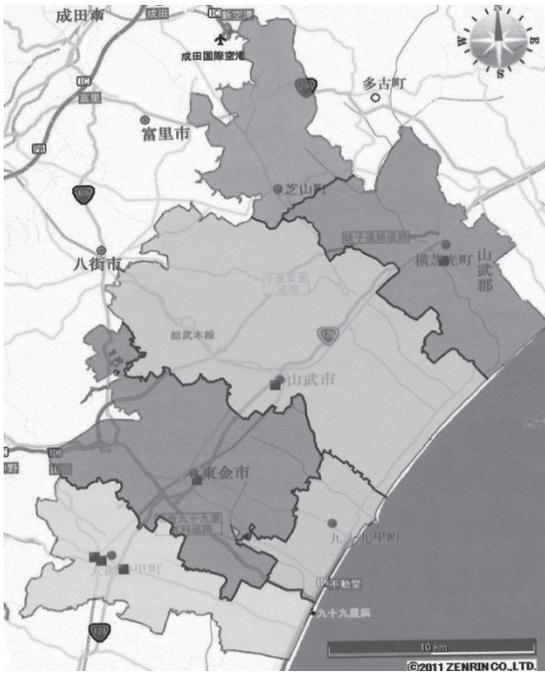


图 6 山武保健所所管区域医療施設(耳鼻咽喉科)

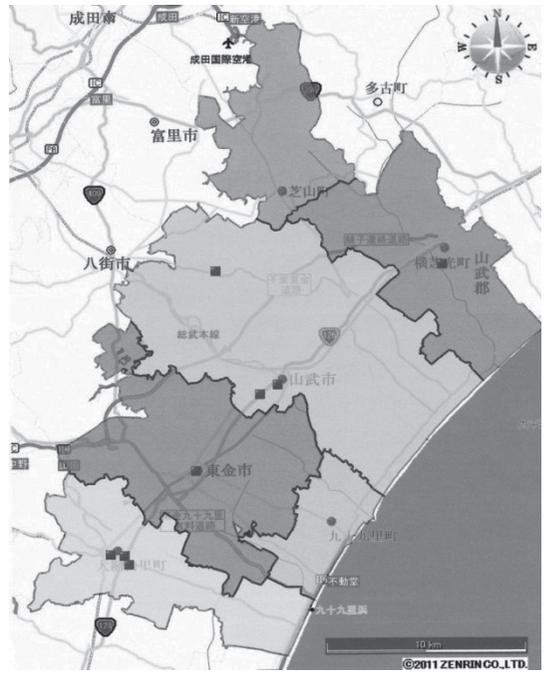


图 7 山武保健所所管区域医療施設(眼科)

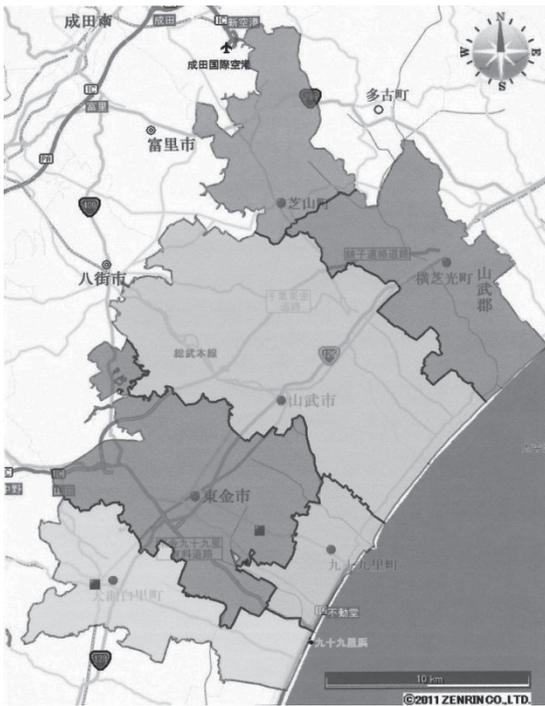


图 8 山武保健所所管区域医療施設(精神科・診療内科)

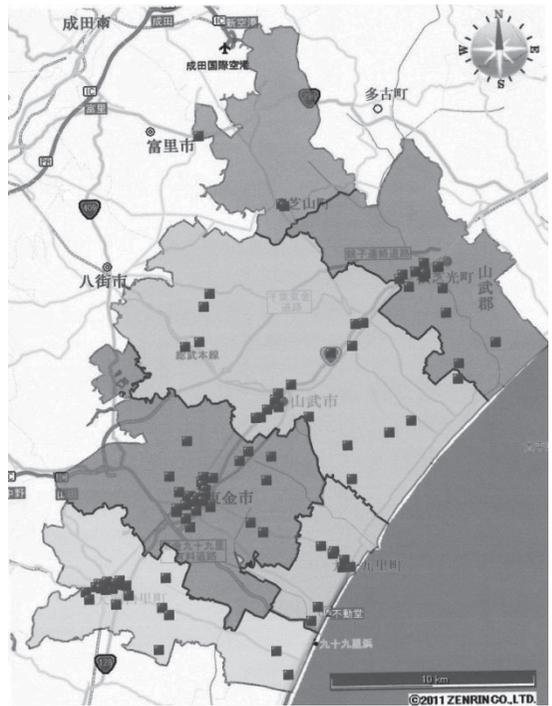


图 9 山武保健所所管区域医療施設(歯科)



図 10 山武保健所所管区域医療施設
(皮膚科・アレルギー科)

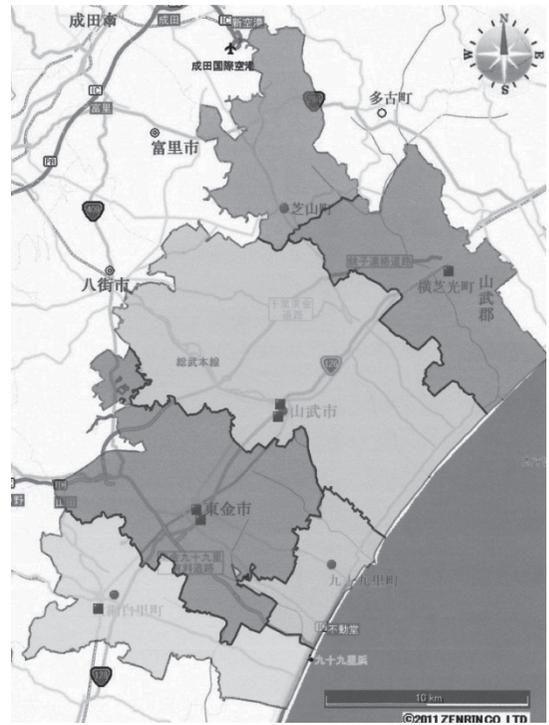


図 11 山武保健所所管区域医療施設(泌尿器科)

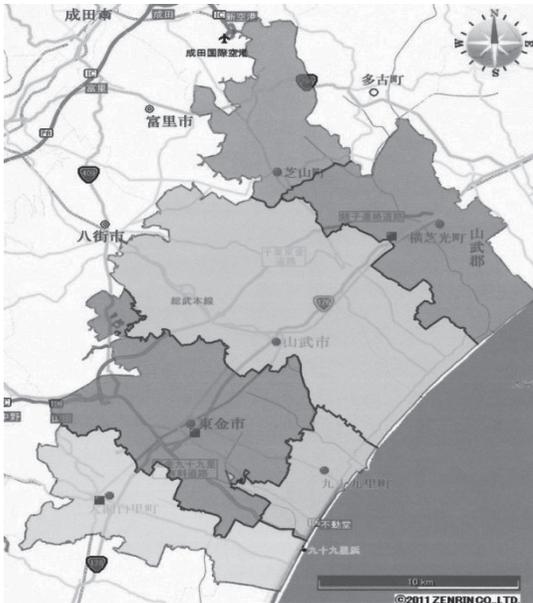


図 12 山武保健所所管区域医療施設(肛門科)

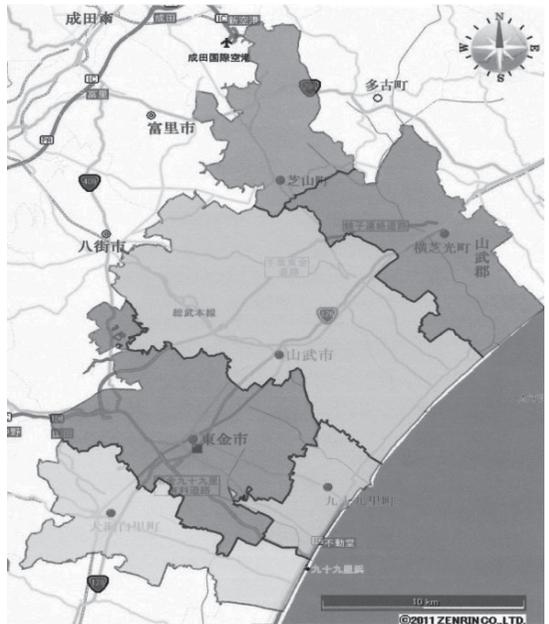


図 13 山武保健所所管区域医療施設(放射線科)

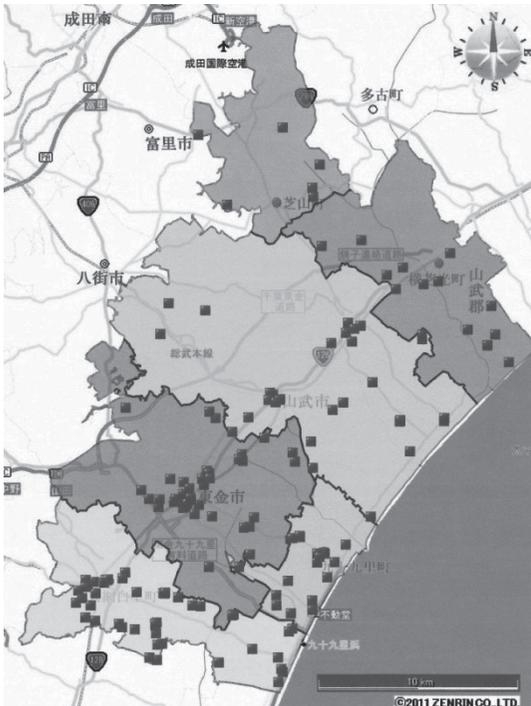


図 14 山武保健所所管区域介護保険施設

3. 交通機関の現況

山武区域を走る鉄道は、総武本線、外房線、東金線があるが、各市町に駅が 1 駅または 2 駅であり、九十九里町は路線を有していない。他の公共交通機関はバス路線となる。

バス路線については、東金市・山武市・芝山町・横芝光町は循環バスを走行し、利用を推進している。大網白里町と九十九里町のバス路線に関しては、九十九里鉄道(株)と小湊鉄道が入っており、交通を担っている。芝山町は、バス路線の他に、「芝山あいあいタクシー」という名称の乗合タクシーの利用を勧めている(表 2)。

比較的、交通路線が整備されている東金市でも、平成 24 年 3 月に目された『東金市総合交通計画』の中で、バス利用者ヒアリング調査結果概要の自由意見のまとめをみると、「路線バスの運行本数が少ない」、「路線バス、市内循環バスのルートを引きたり、延長してほしい」、「市内循環バスの停留所を増やしてほしい、バス停が遠い」等の意見が出されている(東金市、2012)。

VI. 考 察

1. 山武保健所所管区域の抱える課題

(1) 交通網

交通機関の充実、地域の活性化につながるものであり、交通手段がないことにより、通院・

通勤・通学・買い物等の日常生活の不便さをもたらす結果となる。この区域は少子高齢化が著明であり、特に九十九里町・芝山町・横芝光町の3町に関しては、平成23年4月現在で既に老年人口割合は25%を超えており、町民の4人に1人は高齢者という現状である。千葉県の高齢者人口増加率は全国で2番目の伸び率となっているが、県内の中でも山武・夷隅・安房地域は既に高齢者人口割合は高い(千葉県, 2011)。急激な高齢化に伴い、医療や介護を必要とする高齢者が急増することが予想される。

また、東金市・大網白里町は山武区域の中では、第3次産業就業者数が高く、交通の利便性が高いように推測されたが、実際はまだ未整備の地域があり、東金市・大網白里町を含めた山武区域の交通の整備が望まれる。今後、新しい交通機関を計画することは難しいと考えられるが、既存の民間バス・タクシーの更なる活用と公共交通で補いきれない地域については、行政の支援が必要だと考える。高齢者や妊産婦・子供が必要とする、交通手段も今後調査していく必要がある。

(2)医療・福祉情報網

東金市において、県立東金病院が中心となって開設されている“わかしおネットワーク”は地域の診療所、調剤薬局、訪問看護ステーション、保健センター等と電子カルテによるネットワークを結び、効率的で質が高い、安心が保障される医療の実現を目指している。“わかしおネットワーク”が、東金市だけでなく山武区域全体を包括出来る環境が望まれる。また、平成20年4月に改訂した千葉県保健医療計画の『循環型地域医療連携システム』では、「かかりつけ医」の推進が推奨されており、“かかりつけ医”をもつことで総合病院の混雑・医療の煩雑化が軽減され、それぞれの病院の役割を担えと考える。

平成24年度には、千葉県の地域医療再生事業から千葉県医療マップ(山武郡市版)が各家庭に配布された。資料は保存版で、インターネット上にはまだ掲載されていない。地図上にプロットすることにより、今までは住所から地図を見て、場所を特定していた施設が以前よりも早く場所の特定をすることが出来る。インターネットを使用出来ない住民には、手元における資料として大変役立つものである。しかし、転入してきたばかりの住民や若い世代の住民は、インターネットで情報を得ることも多いのではないかと考える。今後、このような情報がインターネット上に公開されることが必要だと考える。

千葉県医療ナビから検索していくと、個々の施設の所在が地図上に表示されるが、市町を超えて、山武区域内全体での診療科目ごとの表示はされていない。結果的に個々に検索していく必要がある。このような観点から、山武区域全体の医療施設が一目で分かれば、受診に困って総合病院を受診するということが少なくなるのではないかと考える。

(3)救急体制

山武保健所所管区域の病院・診療所は、類似機能の施設が並立している。三次救急に対応している施設はなく、二次救急に関しても、十分に機能していない。

平成 26 年 4 月に東金市に三次救急を担う病院が開院する。病院の開院とともに二次医療を支える病院・診療所との円滑な医療連携が望まれる。そのためにも、今回、病院・診療所を地図上にプロットすることにより、地域の医療施設の所在の現状がわかり、山武区域の住民が居住地の近くの診療所に通院し、救急の場合は設備の整った病院に搬送できる安心したシステム作りが可能になると考える。

Ⅶ. おわりに

今回、山武区域の医療・福祉の情報を整理することにより、医療施設の少なさと施設の所在が偏っているという現況が得られた。この区域には専門診療科目の施設が少なく、住民は救急対応が出来る設備の整った病院に通院する。しかし、交通の不便さがあって、気軽に病院にも行けない。“かかりつけ医”の推進事業があり、“かかりつけ医”を持つ住民も増えてきていると思われるが、現実には難しいのではないかと考える。しかし、この山武区域では訪問診療を実施している施設が多い(千葉県, 2011)。そして、この現状を何とかしようと考えている団体や企業があることがわかってきた。行政、既存する医療施設、介護保険施設、平成 26 年 4 月に東金市に開院する三次救急を備えた病院との連携を築き、今後の地域の活性化が望まれる。そして、本大学の薬学部・福祉総合学部が既に地域医療について考え行動されている様に、今後看護学部として具体的にどのようなことが出来るかを考え、大学の学部連携教育で地域支援・活性化に力を入れていくことが必要であることが更に明確になったと考える。

今回、インターネット上の公開されている内容で情報収集を行い、施設の設置場所や施設数・行政で公開されている内容については把握できた。今後、質的な内容・実際の運営状況等の具体的な内容については十分な情報が得る必要がある。実際に現場の人に話を聞くなどさらに調査していくことが必要だと考える。施設名、所在地、診療科目、事業内容等は個々の施設検索をすればわかるが、山武区域で居住地から近いことが一目でわかるようなシステムがあると受診しやすいのではないかと考える。

謝 辞

本研究の情報収集にあたり、資料を提示してくださった東金市ふれあいセンターの健康増進課の方々に深く感謝申し上げます。

文 献

池田浩子, 池下麻美, 水戸美津子. (2008) 栃木県における認知症高齢者とその家族を支える社会資源の検討
—既出資料らの分析—, 自治医科大学看護学ジャーナル, 6, 71-82.

株式会社国際社会経済研究所(2011). 『福祉・医療情報システムの地域導入における課題に関する調査研究報告書』.
山武市(2010). 『山武市地域公共交通総合連携計画』.

- 総務省(2008).『地域の情報化への取組と地域活性化に関する調査研究報告書』.
- 千葉県(2008).『山武長生夷隅保健医療圏における地域医療センターについての県試案』.
- 千葉県(2010).『千葉県過疎地域自立促進計画(平成22年度～平成27年度)』.
- 千葉県(2009).『千葉県地域医療再生計画』.
- 千葉県(2011).『千葉県保健医療計画』.(pp.1-265).
- 千葉県(2008).平成19年 千葉県統計年鑑.
- 土居弘幸他(2009).地域医療の充実と将来展望,岡山医学会雑誌,121,105-108.
- 東金市(2012).『東金市総合交通計画』(pp.27-36).
- 仲村優一,一番ヶ瀬康子,重田信一,吉田久編(1982).社会福祉辞典(p.152).誠信書房(東京).
- 平井愛山,井上由美子,石田路子,藤本晴枝(2007).医療過疎地域における在宅医療福祉システムの構築
—千葉県山武地区の地域医療システム構築における現状分析と課題解決の事例から— (財)在宅医療研究助成
勇美財団(平成19年度後期助成研究)(pp.5-21).
- 平井愛山(1999).東金病院の改革の歩みと今後の展望,千葉医学,76,323-335.